

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 スウィーピング・アニヒレーション	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.510	△RG 0.056	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離
5 1/4 インチ

比較対照ボール：ラベージ 5

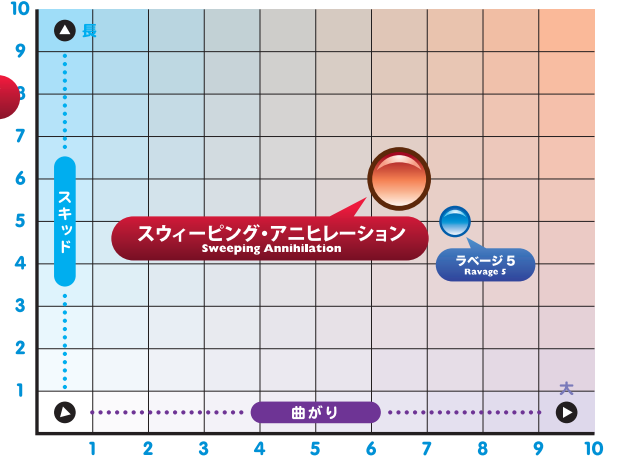
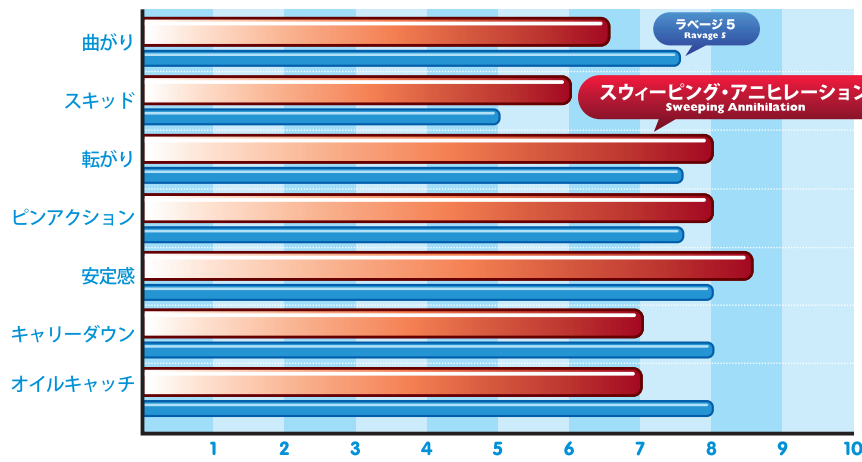
フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離
5 1/4 インチ



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	バックエンドリアクション	レンジス
Light Oil	Smooth	Early Roll
Light to Medium	Smooth to Arc	Early to Med
Medium Oil	Arc	Med-Lane
Medium to Heavy	Arc to Sharp	Med to Late
Heavy Oil	Sharp Angle	Late Roll

ボールの評価

モーリッチボールの真髄はマスバイアスコアにあり、バックエンドで過激に動きを魅せるボールからオイリーなコンディションでその圧倒的なポテンシャルはプロ・アマチュア問わず使用頻度 No1とも言えるでしょう。

このモーリッチ社のマスバイアスコアは、コア自体のモーションポテンシャルが非常に大きく、カバーストックとの相性次第で性能がかなり異なって仕上がります。同じコア形状を使用してもカバーストックのキャッチ力次第で過激にも緩やかに落ち着いた性格にもなります。このスウィーピング・アニヒレーションは**ミディアムコンディションを中心に緩やかに軌道を描き、ボールの動きが読みやすいよう仕上げられました。**私のイメージではバックエンドで過激に動こうとする性能ではないので、**動き始めてからピンヒットに至るまで、ボールの動き幅が読みやすく感じました。コントロールしやすいというのが第一印象で、コンディションによつてのリアクションの変化が少ない性能なので、投球するライン幅の変化も少なくて済むお気に入りのボールです。**実際このボールが届いてからトーナメントに常に持ち込み投球していますが、曲がりの扱いやすさの中にもモーリッチ社独特の軸移動がタップも軽減させています。テスターの岡部プロもこのボールを気に入り、「扱いやすさと言う事を聞いてくれる性能」と絶賛しています。私のようなタイプと岡部プロのようなクランカータイプにも同じようなイメージを感じられるボールは珍しく、高いレベルでの仕上がりのボールと言えるでしょう。

特記事項

扱いやすさとしっかりとした軸移動を兼ね備えた性能のボール。過激さを抑えた性能でもモーリッチファンを唸らせる完成度の高いボールです。